

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名：第3次産業活動指数(5月)

発表日：7月22日(金)

～緩やかな改善傾向が持続～

(No. J-70)

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 徳永香奈 (03-5221-4549)

(単位：%)

		第3次産業活動指数										
		前期比	前年比	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療、福祉	サービス業
03	1-3月	0.7	0.6	0.5	▲0.4	0.0	0.7	▲0.5	0.3	0.3	1.6	1.2
	4-6月	0.1	0.8	▲1.2	2.3	▲1.4	0.0	1.3	1.2	▲1.6	0.5	0.2
	7-9月	0.1	0.1	▲3.2	▲1.7	0.9	▲1.0	2.5	0.2	▲0.1	1.0	0.4
	10-12月	1.0	1.8	1.9	3.5	0.3	1.2	0.8	▲0.2	1.9	0.6	0.5
04	1-3月	0.0	2.4	1.8	▲3.0	▲0.5	▲0.1	1.0	▲0.2	▲0.6	1.0	▲0.2
	4-6月	1.6	2.5	1.6	3.3	0.7	0.5	2.4	1.6	0.5	0.7	3.0
	7-9月	▲0.2	2.5	0.2	▲3.4	0.5	0.1	▲1.9	0.1	▲0.8	0.9	0.8
	10-12月	0.6	2.0	▲2.4	3.7	▲0.1	▲0.1	0.6	0.6	▲0.1	0.2	1.5
05	1-3月	1.4	2.2	4.2	▲2.1	0.2	1.6	1.8	▲0.3	3.0	1.0	2.3
03	1月	1.4	0.7	0.7	▲0.6	0.3	2.5	0.0	1.2	0.1	1.3	1.0
	2月	▲0.1	0.9	▲1.1	1.5	▲0.1	▲0.3	0.8	▲0.6	▲0.5	0.4	0.4
	3月	▲0.2	0.2	2.1	▲2.5	▲0.2	▲0.6	▲1.2	0.4	1.0	▲0.1	0.7
	4月	0.0	0.3	▲1.1	2.4	▲1.5	0.1	0.5	0.8	▲3.1	▲0.3	▲0.5
	5月	0.4	0.6	▲1.5	▲1.0	0.5	1.0	0.9	1.1	1.5	1.5	0.3
	6月	0.1	1.6	▲0.2	5.3	0.0	▲0.6	2.2	▲1.1	0.2	▲0.9	▲0.4
	7月	▲1.4	▲1.3	▲9.1	▲7.3	0.6	▲1.6	▲0.1	▲0.3	▲1.0	1.2	0.0
	8月	1.5	▲0.1	7.8	3.5	0.1	1.2	0.4	1.6	▲0.8	▲0.7	0.8
	9月	0.8	1.7	5.5	1.7	0.1	0.0	1.5	▲0.6	2.6	0.9	0.3
	10月	0.8	2.5	▲3.8	0.4	1.3	3.0	0.6	▲1.1	0.4	0.1	0.6
	11月	▲1.2	0.5	▲0.6	0.3	▲2.0	▲3.6	▲0.7	1.0	▲0.4	▲0.5	0.2
	12月	0.0	2.4	0.4	2.1	0.7	0.6	▲1.5	0.3	2.5	0.1	▲0.4
04	1月	2.0	2.5	2.5	▲4.1	0.8	3.4	3.0	0.2	▲2.5	2.2	2.5
	2月	▲3.1	2.7	▲1.9	▲0.6	▲3.0	▲3.6	▲3.3	▲2.8	0.2	▲3.6	▲4.0
	3月	1.6	2.1	1.5	0.2	2.6	▲0.6	4.6	3.1	1.0	4.2	0.6
	4月	2.0	3.4	▲0.1	2.1	0.2	3.2	1.7	0.4	▲0.2	▲0.6	4.4
	5月	▲1.0	1.0	1.6	▲1.0	▲0.5	▲2.0	▲1.4	0.2	0.5	0.1	▲0.7
	6月	0.6	3.0	0.8	5.7	0.6	1.1	▲0.8	0.3	▲0.9	▲0.6	0.1
	7月	▲0.3	3.4	0.1	▲9.3	1.3	0.9	▲1.7	▲0.2	1.2	0.6	0.4
	8月	0.2	2.6	▲2.0	4.9	▲1.6	▲1.0	1.1	0.1	▲3.1	1.0	0.2
	9月	0.0	1.6	1.3	▲0.4	0.2	▲0.5	▲0.1	▲0.1	1.8	▲0.3	1.6
	10月	0.3	0.5	▲1.4	2.4	0.4	1.2	0.1	▲0.2	▲0.7	▲0.4	▲1.1
	11月	0.3	3.0	▲1.6	▲1.4	0.3	▲0.7	0.8	1.0	▲2.1	0.9	1.9
	12月	0.1	2.4	▲0.6	2.4	▲0.8	0.0	▲1.0	0.3	5.7	▲0.4	0.7
05	1月	2.4	3.1	3.6	▲3.1	0.6	4.6	2.9	▲0.3	0.1	1.9	1.9
	2月	▲1.2	1.5	2.3	1.1	▲1.1	▲2.7	▲1.0	▲0.3	▲0.8	▲2.0	▲0.7
	3月	▲0.9	2.0	▲0.2	▲2.6	2.3	▲2.9	▲0.2	▲1.2	1.3	1.5	▲0.7
	4月	1.7	1.7	▲0.6	1.8	0.5	4.3	▲0.2	1.4	▲0.7	▲0.5	1.2
	5月	▲1.5	1.8	▲2.3	▲1.5	▲1.8	▲2.2	▲0.6	1.0	▲0.7	▲0.3	▲1.8

(出所) 経済産業省「第3次産業活動指数」

○ 前月からの反動減

5月の第3次産業活動指数は、前月比▲1.5%と2ヶ月ぶりに低下し、事前コンセンサス(▲1.2%、レンジ▲2.0%~▲0.3%)を若干下回った。もっとも、これは前月大幅に上昇していた反動が出たものであり、さほど懸念する必要はない。実際、今月低下した業種は、卸小売業(同▲2.2%)、サービス業(同▲1.8%)、情報通信業(同▲1.5%)だが、これらの業種は前月に大幅に上昇しており、今月の低下は基調を示すものではない。均してみれば、第3次産業活動指数は引き続き底堅く推移しているという評価を変更する必要はないだろう。

○ 全産業活動指数も揃って減少

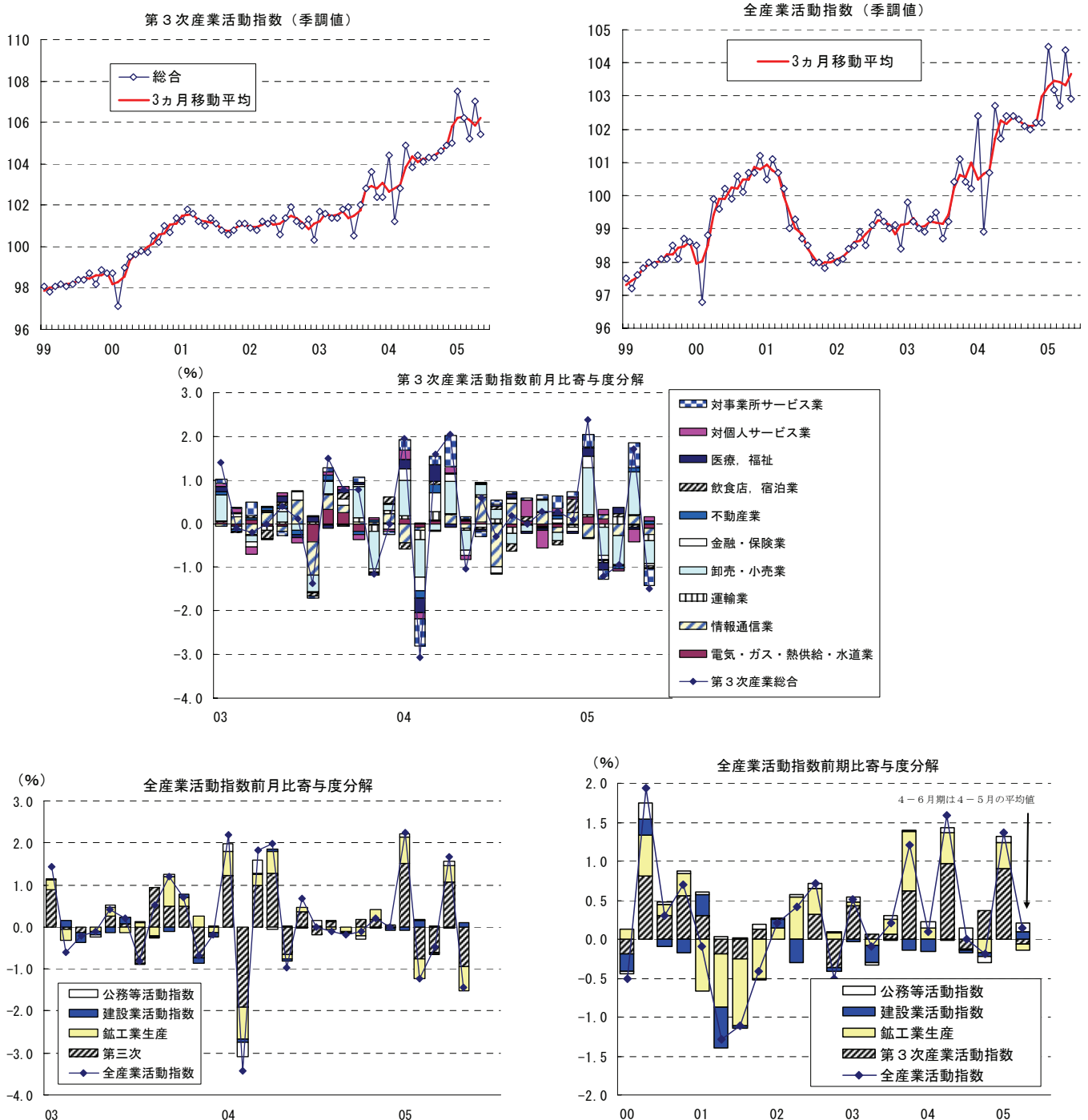
同時に公表された5月の全産業活動指数は前月比▲1.4%と、ほぼ事前コンセンサス(▲1.5%、レンジ▲2.3%~▲1.0%)通りの2ヶ月ぶりの低下となっている。内訳では、第3次産業活動指数と鉱工業生産指数(同▲2.8%)の低下が全体を押し下げている。

5月の鉱工業生産指数によると、予測指数を元にした4-6月期生産見込みが前期比▲0.5%と減少が見込

まれていることに加え、7月の予測指数も低調であることなどからみて、今後も生産は横這い圏内で推移する見通しである。しかし、個人消費が底堅く推移することで第3次産業活動指数は引き続き緩やかな改善を続けるとみられ、全産業活動指数を下支えることになるだろう。

○ 4-6月期も引き続き上昇の可能性

5月の全産業活動指数は2ヵ月ぶりに低下したが、前月(同+1.7%)からの反動減の範囲内である。実際、4-5月の対1-3月期比をみると+0.1%となっており、6月は反動増が見込まれることからしても、4-6月期は前期に引き続き上昇する可能性が高い。伸び自体は1-3月期からかなり鈍化するが、1-3月期の伸びがかなり高かったこと(前期比+1.4%)を考えれば、底堅い推移といっても良いだろう。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。